

成人看護学概論

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 秋山 智弥 特任教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義 12時間
期 間	前期		
単 位 数	1単位		

・学習方針（講義概要等）

成人期にある者およびその者の家族等を対象とした急性期から慢性期を通じた看護について理解する。具体的には、臨床現場での意思決定および意思決定支援、健康と病気の経験および家族やグループの多様な倫理・文化・地理的背景とは何かについて、学びを深める。

・教育成果（アウトカム）

成人期にある患者およびその家族を対象とした急性期看護から慢性期看護に至るまでの過程について説明できるようになる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 3, 4, 5, 7, 8

・到達目標（SBO）

1. 成人期の特徴と健康問題について、多面的に考えることができる。
2. 治療過程を知り、症状マネジメントの重要性を理解できる。
3. 患者体験を知り、支援に向けたコミュニケーションスキルを修得できる。

・ 授業日程

(矢) 東 2-B 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/2	火	1	共通基盤看護学講座	秋山 智弥 特任教授	<p>成人の生活と健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成人期の特徴について、心身、ライフサイクル、社会・文化的側面から説明できる ・ 成人をとりまく今日の状況について概説できる ・ 成人の健康および健康上の課題について説明できる
4/3	水	1	共通基盤看護学講座	秋山 智弥 特任教授	<p>成人への看護アプローチの基本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成人との関係の結び方について説明できる ・ 成人への適応の促し方について説明できる ・ 成人に対する発達の促進、統合の支援について説明できる
4/4	木	1	共通基盤看護学講座	秋山 智弥 特任教授	<p>急激な健康破綻をきたした成人への看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 急性の状態をもたらす原因及び急性の状態にある患者の身体的反応について説明できる ・ 急性の状態にある患者と家族の心理的反応について説明できる ・ 救急看護について説明できる
4/4	木	3	共通基盤看護学講座	秋山 智弥 特任教授	<p>治療過程にある患者への看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 周術期看護について説明できる ・ 回復期看護について説明できる

4/5	金	2	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授	<p>生活機能障害を有する患者への看護 慢性的な経過をたどる健康障害を有する患者への看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 慢性的な経過をたどる健康障害の患者を理解できる ・ 慢性的な経過をたどる患者の看護について説明できる ・ リハビリテーションの基本的な概念が説明できる <p>事前学習：教科書 P227～243 を読んでおく</p>
4/8	月	2	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授	<p>成人期にある人を看護するための基本的な考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 喪失と悲嘆を支える看護について説明できる ・ 自己決定を支える看護について説明できる ・ セルフケアについて説明できる ・ 成人学習を促進する教育的支援について説明できる <p>事前学習：教科書 P150～172 を読んでおく</p>
4/9	火	3	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授	<p>健康状態に応じた看護 健康の保持・増進、疾病予防に向けた看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な生活習慣病について説明できる ・ 保健行動と行動変容について説明できる <p>事前学習：教科書 P197～206 を読んでおく</p>

4/11	木	1	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授	<p>人生の最期を迎える患者への看護 成人看護を充実させる実践的環境</p> <p>・最期を迎える人の身体的心理的 変化が説明できる ・最期を迎える人の看護について 説明できる</p> <p>事前学習：教科書 P227～283 を読 んでおく</p>
------	---	---	-----------	-------------	---

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	看護学テキスト NiCE 成人看護学 成人看護学概論 改訂第2版	林直子他編著	南江堂	2014

・成績評価方法

定期試験（80点）、レポート（20点）により評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

各回の講義内容を指定する教科書および参考書で予習し講義に臨むこと。
終了後は、課題に従って講義内容の復習をすること。予習・復習は、各回最低 30 分以上を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

各回講義の中で、教員とのディスカッションの機会を設ける。
レポートの提出は Webclass を用いてオンラインで行う。
提出されたレポートは、評価後適宜コメントを付し、返却する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：専門分野Ⅱ 成人看護学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影